

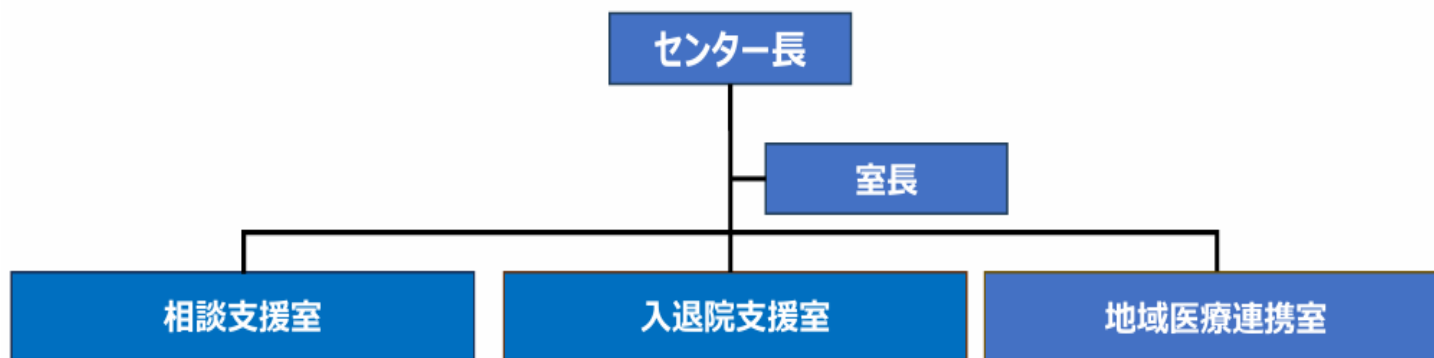
地域医療連携・相談支援センター

地域医療連携・相談支援センターは、「前方医療連携」「後方医療連携」「患者相談支援」の機能を担っています。

ミントグリーンの
ユニホームが
目印です！



センターには看護師、社会福祉士、がん相談員を配置し、患者さんのスムーズな来院、不安なく「がん診療」を受けていただくための様々なサポート、そして笑顔で地域へ戻っていただけるように支援を行っています。



地域医療連携室

当院に受診を希望される方の受け入れや、地域の医療機関との連携を行っています。

【主な業務】

- ・初診予約受け入れ
- ・他院受診の予約取得
- ・愛知県統一がん地域連携パスの運用
- ・地域の医療機関との連携

地域の先生方と顔の見える関係を大切にし、安心してがん診療を受けていただけるよう取り組んでいます。



気持ちの良い対応と笑顔をこころがけています 😊



かかりつけ医はいいますか？

- 当院では、患者さんが地域で安心して生活できるよう、「かかりつけ医」の先生との連携を大切にしています。
- かかりつけ医の先生が、当院での治療や経過を把握してくださることで、より安心して診療を受けていただけます。
- また、風邪などの感染症にかかった際にも、スムーズで安心できる医療につながります。

**かかりつけ医がない場合は、地域医療連携室にご相談ください。
自宅近くのクリニック等を一緒にお探しいたします。**

がん地域連携クリニカルパス

- がんの治療を受けた病院と、かかりつけ医や専門クリニック等と連絡を取り合い定期通院を支えていくシステムです。
- 愛知県統一パスとして共通運用しています。

★愛知県統一がん地域連携パス

- 乳がん手術後（ホルモンパス/TS-1パス）
- 胃がん手術後、内視鏡治療後（ESD後）
- 大腸がん手術後
- 肝臓がん手術後
- 肺がん手術後（経過観察パス/UFTパス）
- 前立腺がん手術後、放射線治療パス



がんセンターでは、乳がん手術後、胃がん内視鏡治療後、肺がん手術後（経過観察パス）、前立腺がん手術後の連携を行っています。

検診結果に基づく初診予約を開始します。

がん検診の結果が「D判定」または「要精密検査」の場合に、患者さんやご家族から直接、初診予約をしていただける体制を整えました。今後は、患者さんやご家族からお電話で初診予約をお取りいただけます。

★2025年11月25日（火）より開始します。

近日中に、当院ホームページへの掲載、
および院内ポスターを掲示します。

検診は気づき 精査は確かめ



未来を守るのはその一歩

受けよう！精密検査

入退院支援室

【入院支援】

- 治療や検査で入院が決まりましたら入退院支援室へお越しください。
- 入院に必要な持ち物やおおよその経過をご説明いたします。
- 日頃のお食事や睡眠など生活のお話もお伺いします。



ご相談の内容に応じて専門の
スタッフへ連携しますので
病気のこと、治療、検査、
仕事、経済面なんでも
ご相談ください

安心して入院生活を
お過ごしいただける
ように支援いたします



【退院調整】

- 退院後安心して療養できるように支援いたします。
- 入院後病棟担当の看護師がご挨拶にうかがいます。
- 在宅医療が必要な方には訪問医や訪問看護師についてご説明し、クリニックや訪問ステーションと連携いたします。



入院前にお伺いした情報をもとに
病棟の看護師と退院後の療養生活に必要な
支援について考えます

● 通院が難しくなったときや、退院後、自宅等※でも医療を受けられます。

困ったときのために、前もって
かかりつけの医師やケアマネジャーと相談し、
色々な選択肢を見つけておきませんか？

- ☆ 介護サービスの利用についても
今から調べておきましょう！
- 要介護認定の申請場所は◎◎◎◎◎◎
- ホームヘルパー等が自宅等を訪問し、
食事・入浴の介助や掃除・洗濯の援助等
を通じて、生活を支援する訪問介護
- 一時的に施設に入所するショートステイ

病院
診療所

ケース 1 通院が困難となり、
通院から自宅等※での在宅医療へ

ケース 2 病状が進むなどで入院し、
退院後に自宅等※での在宅医療へ

在宅医療
～ 自宅等※で受ける医療～

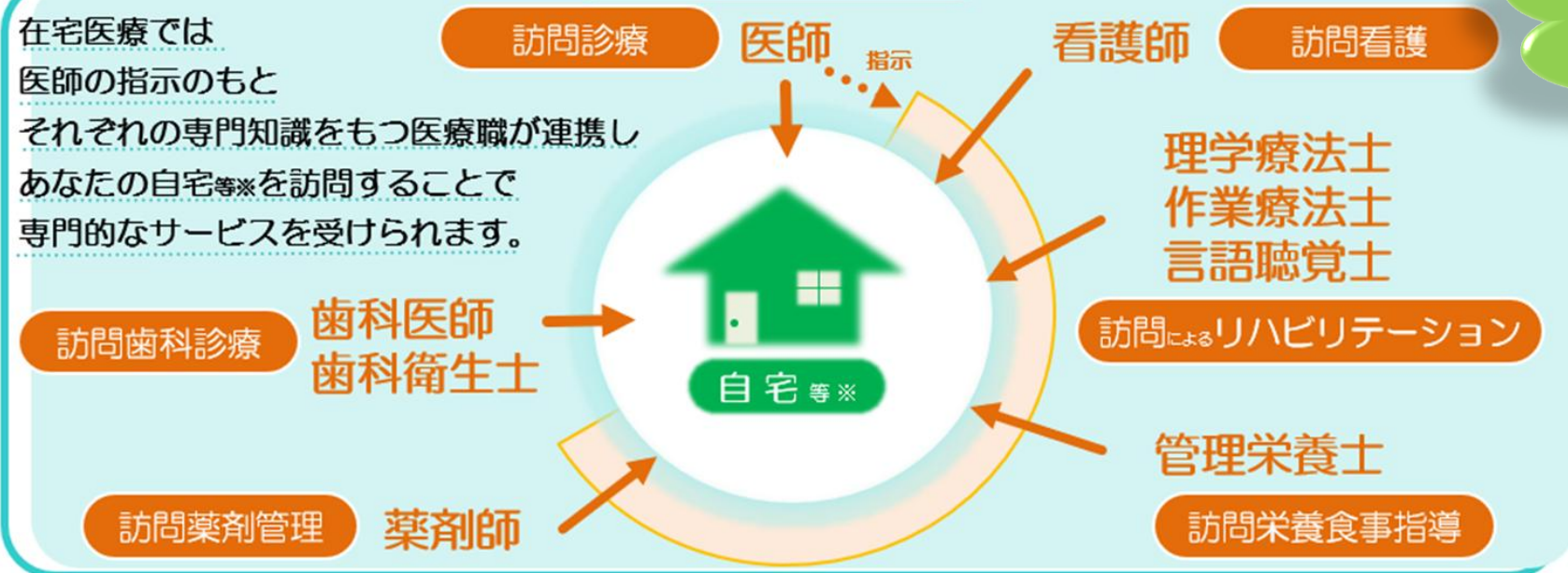
※ 例えば、年齢・疾患・病状によって、自宅のほか
高齢者住宅等のお住まいで、医療を受けることも可能。

通院が大変でこれから
自宅で療養するには
どうしたらいいの？

在宅療養ではどんな
支援が受けられるの？

在宅医療では
医師の指示のもと

それぞれの専門知識をもつ医療職が連携し
あなたの自宅等※を訪問することで
専門的なサービスを受けられます。



各サービスの内容は、裏面をご参照ください。地域によって受けられるサービスが異なる場合がありますので、医師・ケアマネジャー等とも相談しましょう。

在宅医療の推進について／厚生労働省HPより引用



相談支援センター

(がん相談支援センター)

「がん相談支援センター」は、全国の「がん診療連携拠点病院」などに設置された、がんに関する相談窓口です。がんの診断、治療、療養生活、仕事、お金のことなど、どんなことでも無料で相談でき、患者さんだけでなくご家族も、どなたでもご利用できます。

愛知県がんセンター

相談支援センターのご案内

外来棟2階 エスカレーター奥
平日 9時～17時

わからないこと
困ったこと
何でも無料相談

相談内容の
秘密は厳守します



主な相談内容

- 医療費や生活費など心配事
- 介護や福祉制度、サービスについて
- 家族や仕事の不安
- 退院後の生活について

相談業務は、
医療ソーシャルワーカー
看護師
が担当しています。

電話での相談は052-762-6111(代表)または052-764-9893(がん相談専用)まで。

イラスト/ポスター制作 呼吸器内科部 山口 哲平



愛知県がんセンター 相談支援センター

平日9時～17時 秘密厳守 匿名相談可
相談は無料 看護師、社会福祉士が対応

電話・面接・メール相談

院内だけでなく院外からのご相談も多くいただいています。

ケア帽子やヘルプマーク の配布

がんについての資料等の情報提供、ボランティアさんの手作り帽子やヘルプマークを希望者にお渡ししています。

就労専門相談

＜就職相談＞ ハローワークの就職支援ナビゲーターによるがん患者さんの就職の助言、情報提供

＜就労相談＞ 社会保険労務士による社会保険、年金、雇用に関する制度や法律に関する相談、助言

＜両立相談＞ 産業保健総合支援センターの両立支援促進員によるミニセミナーの開催、治療と仕事の両立に関する相談、助言等

資料・情報提供

がんの治療、患者会、セミナー、アピランス（ウィッグ等）、各種助成制度に関する資料を提供しております。ご自由にご覧ください。

面接相談

医療や福祉制度のご相談をはじめ、様々なご相談に対応しています。



患者さんに知っていただきたい主な制度

・高額療養費制度

医療費が高額になる場合に、自己負担を軽減できる制度です。マイナ保険証を病院のカードリーダーに通していただくと、高額療養費制度の手続きが原則不要になります。70歳未満と70歳以上では、自己負担限度額などの内容が異なります。

・障害（基礎・厚生）年金

病気やけがなどにより、生活や仕事などに制限が生じた場合に受け取ることができる公的年金です。65歳以上の方は老齢年金との選択が必要となります。

・医療費控除

1年間（1月1日～12月31日）に支払った医療費の合計が一定額（原則10万円、年収200万円未満の場合は所得合計金額の5%）を超えた場合、所得税の控除が受けられます。生計を一にする配偶者やその他の親族の医療費も対象に含まれます。

・傷病手当

仕事を休み、給与が受け取れない場合に、健康保険から支給される手当金です。支給期間は支給開始日から最長1年6ヶ月で、市町村の国民健康保険の被保険者や社会保険被扶養者は対象外です。

詳しくは、相談支援センターにおたずねください。

相談支援センターに寄せられるご相談の例

ご相談内容は相談員がお伺いし、必要に応じて院内や地域の関係機関と連携しながら対応いたします。

<連携先の例>

・痛みのコントロールができなくて辛い/家族との関係に悩む/不安があり、どうしていいかわからない

→緩和ケアセンター（がん看護外来）

・頼れる家族が近くにおらず、入院中に小さい子どもをみてほしい

→居住地管轄の市区町村役場など

・今の仕事を続けて行くにはどうすればいいかわからない

→就労相談（社会保険労務士）、両立相談（産業保健総合支援センター）

●治療について

- ・がんや治療について詳しく知りたい
- ・セカンドオピニオンを聞きたい
- ・緩和ケアを受けられる病院はあるか
- ・治療の副作用と上手に付き合いたい

●家族とのかかわりについて

- ・家族にどう話していいかわからない
- ・家族に心配をかけるのではないか
- ・家族の悩みも相談したい
- ・家族として患者にどう接してよいか分からない

●希少がんについて

- ・希少がん（患者の数が少ないがん）の詳しい情報を知りたい
- ・希少がんの治療や療養について相談したい

●医療者とのかかわりについて

- ・医師の説明が難しい
- ・医療者に自分の疑問や希望をうまく伝えられない
- ・何を質問すればよいか分からない

●療養生活、制度やサービスについて

- ・仕事を続けながら治療はできるか
- ・自宅で療養したい
- ・活用できる助成・支援制度、介護・福祉サービスを知りたい
- ・介護保険の手続きを知りたい

●AYA世代(15歳～30歳代)のがんについて

- ・学校は続けられるか
- ・就職や仕事はどうなるか
- ・育児のことで困っている
- ・子どもや親、職場や学校にどのように伝えればよいか

●今の気持ち、不安や心配などについて

- ・今の気持ちを話したい
- ・不安でたまらない
- ・気持ちが落ち込んでつらい
- ・何を相談してよいか分からない

●妊よう性、性に関することについて

- ・がんや治療は、妊娠や出産に影響するか
- ・がんや治療によって、性機能や性生活に影響はあるか
- ・パートナーとの関係が心配



お気軽にご相談ください！